大阪高松教区報
11
2026

発行所
大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号　540-0004
TEL（06）6941-9700（代表）
TEL（06）6946-3223（直通）
FAX（06）6946-3224（直通）
E-mail：kyokuho@ostk.catholic.jp
編　集　広報委員会
発行人　前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」あります。〈無料〉
※ご希望の場合は下記まで申込み——
「点訳版（点字本）」
教区報☎06・6946・3223（直通）
FAX06・6946・3224（直通）
「音訳（テープ・デイジー）」
山口さん☎0798・22・1649

☆☆☆住之江教会堅信式
☆☆和歌山紀北教会 子どものためのデイキャンプ　2面
☆JCNA日本カトリック看護協会全国大会（3面）ホセ神父様によるスペインの味（坂出教会）
☆☆☆大島へ遠足（桜町教会）
☆☆☆司牧者からのおすすめコンテンツ　3面

広報委員会へのEメールアドレス＝kyokuho@ostk.catholic.jp

『教区報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

新司教選出祈願ミサ・教皇大使との集い

10月10日（土）・11日（日）の両日、新大司教選出祈願ミサと教皇大使による意見聴取が行われた。後任大司教の選出に向けた調査に先立ち、教区内の司祭・助祭・修道者・信徒から意見を聴く取り組みは、日本国内では初めての試みとなる。

祈願ミサでは、教皇大使から、前田万葉大司教が2年前に教会法第401条第1項に基づいて提出した辞任願いを教皇レオ14世が受理されたことが伝えられた。また、信徒への司牧的配慮と教区運営の継続性を保つため、後任者が任命され、教会法に則って着座するまで、前田大司教が引き続き職務を務めることも発表された。

教皇大使は、意見聴取のため、計4回の集いを開催した。参加者は、教区司祭・助祭および属人区司祭が約40人、修道会・宣教会の司祭・助祭・修道者が約30人、女子修道会代表者が17修道会から24人、信徒代表者が11地区から22人であった。

各集いでは、教皇大使から意見聴取の趣旨と求める意見について説明があり、その後、グループごとの分かち合いが行われた。さらに、各グループの意見に加え、参加者個人の意見も聴くため、文書での提出が求められた。

今回の意見聴取は、新大司教選出に向けた第一歩となる。今後、さまざまな調査を経て新大司教が任命される。聖霊の導きを願い、祈りのうちにその日を待ちたい。

教皇大使から前田大司教への感謝

教皇大使はグループに４回に分けて説明を行った

苦しむ人びとの隣人となるために

第12回 病者・障がい者とともに歩むミサと交流会

第12回病者・障がい者とともに歩むミサと交流会が、9月23日（水・祝）、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂にて、前田万葉大司教の司式により行われた。ボランティアの方々の協力により、カテドラルは病者、障がい者とともにミサをささげる喜びに満たされた。

聖書の言葉をひと言ずつ声にのせて

前田大司教は説教で、「サマリア人のあわれみ―他者の苦しみを担うことで愛する」と題された「第34回世界病者の日 教皇メッセージ」を紹介された。その中で教皇様は、傷ついた人にイエスのまなざしを向けたサマリア人の姿を提示し、病者をはじめとした困窮する人々、苦しむ人々に私たちが注意を向け、進んで近づき、隣人となるよう説かれている。

説教の最後に**ともミサや隣人たれと秋の声**と詠まれ、秋の爽やかな日に、良きサマリア人の福音から「苦しむ人々の隣人になりなさい」という神の声が聞こえてくるようだと結ばれた。

ミサ後の交流会では、視覚障がい者が教会などで必要とする支援やそのあり方について、手引きの体験などを通して分かち合った。参加者は熱心に説明に耳を傾け、積極的に体験していた。参加者からは、「手引きをしてみて、声かけや自分の身体の運び方の難しさが分かった」「怖かったが、一歩前で手引きをしてもらい、声かけや手をたたいて合図をしてもらえると安心感があった」「相手に合わせて介助の方法を考える大切さを知った」といった声があった。

（文　カトリック堺教会　由留木（ゆるき）安奈（あんな））

前田大司教の説教

教区納骨者および死者祈念ミサ（大阪）
11月3日（火・祝）11時
司式：酒井俊弘補佐司教
大阪高松カテドラル 聖マリア大聖堂

死者のためのミサ（高松）
11月3日（火・祝）10時
司式：松浦信行神父
四国カトリック会館地下納骨堂
（ミサ後）姥ケ池（ばあがいけ）墓地墓参

大阪のカトリック病院
ガラシア病院
信者の皆様、入院はガラシア病院へどうぞ!
【特徴的な医療】
・緩和ケア（ホスピス）
・回復期リハビリテーション
*チャプレンが常駐して秘跡の授与
・ミサは、主日に病院と老健で交互に
＊霊的ケア
専任の神父とシスターが担当
〒562-8567
箕面市粟生間谷西6-14-1
☎072-729-2345
医療法人ガラシア会（チャプレン 松本信愛）
医療法人ガラシア会

ひとりで悩まないで
～私たちに聴かせてください～
カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口
※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。
電話番号:06-6941-9718
相談窓口受付時間
月･火･金曜日（祝日を除く）
午前10時～午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。秘密は必ず守られます。

入居者、スタッフ募集
株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者向け住宅
ドムスガラシア
2020年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒、修道者、司祭のケアを提供。
入居者を募集しております。また、看護師、介護職員を募集しております。皆様ご協力をお願い申し上げます。
☎　06-4960-8020
✉　info@gratia-wings.jp
担当 奥本、濱口

リスナーの方募集中！
小さきテレジアの会
「大阪高松教区報」を音訳し、データCDに録音して、大阪高松教区の視覚障害者の方々にお送りしています。
データCDは、プレストーク・パソコン・MP3対応のCDラジカセで聞くことができます。
音訳というのは、一般に認識されている朗読とは、すこし違います。書かれている内容を正確に、あまり感情をこめすぎずに、ニュースを読むアナウンサーのイメージです。
問合せ　尻川教会小さきテレジアの会
☎　0798-22-1649
Fax　0798-34-3585
担当：音訳（デイジー）山口

教皇レオ 14 世の病気について

カトリック大阪高松大司教区　大司教　前田万葉

教皇レオ 14 世は、10 月 11 日、バチカンで行われた日曜正午の祈りの集いにおいて、定期検診で肺に結節が発見され、医師団の判断により、近日中にローマのジェメッリ総合病院で切除手術を受けられることを明らかにされました。

その後、10 月 13 日、教皇は予定どおり胸部の手術を受けられました。バチカン広報局から発表された医師団の声明によると、手術では、より根治的な治療を目的として、右肺下葉が切除されました。術中の組織検査により、術前から疑われていた肺腺がんであることが確認されましたが、手術は約 90 分で無事に終了し、合併症もありませんでした。教皇は予定どおり目を覚まされ、意識も明瞭で、病室に戻られた後には夕食をとられたとのことです。

教皇レオ 14 世が神の恵みに支えられ、手術後の回復を順調に歩まれますように。また、医師や看護に携わる方々にも主の導きと力が与えられますように、各共同体においても、日々の祈りとミサの中で教皇のために祈ってくださいますようお願いいたします。

祈りのうちに

マルセリーノ　谷大二名誉司教帰天

さいたま司教区名誉司教 マルセリーノ谷大二名誉司教が、2026 年 10 月 10 日午前 9 時 41 分、帰天されました。享年 73 歳でした。

司教様の永遠の安息のためにお祈りください。

【略歴】

1953 年 2 月 13 日　兵庫県宝塚市に生まれる
1986 年 3 月 21 日　司祭叙階
2000 年 5 月 10 日　浦和教区司教に任命
2000 年 9 月 15 日　司教叙階
2013 年 7 月 27 日　退任
2026 年 10 月 10 日　さいたま赤十字病院にて帰天

神の愛に包まれ 信仰の歩みを新たに

カトリック住之江教会
8人に堅信の秘跡が

9月20日（日）、住之江教会で酒井俊弘補佐司教の主司式、松浦謙神父の共同司式による堅信式が行われた。当日は雨模様となったが、約150人が聖堂に集い、受堅者の新たな信仰の歩みをともに見守った。

酒井司教・松浦神父を囲み、聖霊の恵みを受けた受堅者

酒井司教は、イザヤ書の「私の思いは、あなたたちの思いを高く超えている」とのみ言葉を取り上げ、人間の考えや判断をはるかに超える神の寛大さについて語った。また、「祖父母と高齢者のための世界祈願日」にちなみ、教皇フランシスコの「わたしがあなたを忘れることは決してない」（イザヤ49・15）とのメッセージを紹介。ウクライナ避難学生への支援にも触れ、神の愛を具体的な行動で示すことの大切さを伝えた。さらに、自身の闘病経験を交え、人生のどのような時にも神は一人ひとりを忘れず、呼びかけ続けてくださること、その呼びかけに応えて歩むことの大切さを説いた。

按手の秘跡を受けて

8人の受堅者からは、堅信の恵みへの喜びと、これまで支えてくれた神父や教会共同体への感謝が語られた。堅信に向けた学びを通して聖書やキリストの教えをより深く知り、これからも信仰を学び続けたいとの声も聞かれた。また、日々の生活の中で神のみ旨を求め、困難にある人々に寄り添い、それぞれの場で教会や社会のために自分のできることを実践していきたいとの決意を新たにした。

準備に携わった教会関係者も、8人が堅信の恵みを受ける姿に大きな喜びと安堵を感じ、多くの協力への感謝を表した。雨の中にも聖堂は厳かで温かな雰囲気に包まれ、教会共同体にとっても、信仰の歩みをともに喜ぶ一日となった。

（文　住之江教会信徒　黒川武志）

聖堂

住之江教会 紹介

◆守護　聖パウロ
◆住所　大阪市住之江区御崎3―6―7
◆☎06―6681―1895
◆設立年　1961年
◆信徒数　270人
◆ホームページ

【教会の特色・特徴】

住之江教会は、ベルギー発祥のカトリック淳心会によって大阪南部の宣教拠点として築かれ、1960年代から地域とともに歩んできた教会です。白を基調とした明るい聖堂には、ベルギーからもたらされた十字架が掲げられています。照明によって背後の壁に映るその影は、まるで復活した主イエス・キリストが両手を広げ、訪れる人々を迎え入れているようにも見え、住之江教会を象徴する存在となっています。現在の住之江教会の大きな特色は、世代や国籍を越えて「共に歩む教会」であることです。日本人信徒に加え、ベトナムをはじめとする外国籍の若い信徒や家族、子どもたちも多く集い、ミサや教会活動に参加しています。また、外国籍の信徒も教会運営の担い手として加わり、ともに教会の未来を考えています。戦後から受け継がれてきた信仰と歴史を大切にしながら、新しく訪れる人々を温かく迎え、国籍や世代を越えて一つの共同体を築いていくこと。それが、現在の住之江教会の大きな特色です。

【おすすめの店（場所）】

・地元で親しまれる昔ながらの洋食店「グリル仔鹿」ご夫婦で切り盛りして58年になる、地域に根ざした昔ながらの洋食店。
・Epitome coffee bake（エピトム）グルテンフリーの焼き菓子と米粉パンが人気のカフェ。

教会で夏の一日を楽しむ

和歌山紀北教会屋形町聖堂
子どものためのデイキャンプ

教会内で子どもたちと流しそうめん

8月16日（日）、和歌山紀北教会屋形町聖堂にて子どものためのデイキャンプを行いました。

主日のミサ後、シスターより「お祈り」のお話と「きみは愛されるために生まれた」の歌のプレゼントをいただきました。昼食では、グェン・クォク・トゥアン神父とベトナムの方々が準備してくださった竹を使い、流しそうめんをしました。初めての体験だったという方もおり、教会の皆さまが作ってくださったお稲荷さんもいただきました。

午後はトゥアン神父からベトナムのお話を伺い、異文化に触れる機会となりました。自由遊び時間にはシャボン玉やかき氷作りも行い、真剣に将棋をする姿もありました。神さまの導きと多くの方々に支えられ一日を過ごすことができました。最後に感謝と世界の平和を祈り、締めくくりました。

（文　和歌山紀北教会　教会学校担当　深堀安希子）

司牧者からのおすすめコンテンツ

今回は、川邨裕明神父（芦屋教会主任）からのおすすめコンテンツです。

今年、知り合いの信者さんから一冊のマンガ本を送っていただきました。

同封されていた手紙には、「主人が『ユスト高山右近』のマンガ本を出版しました。執筆期間中はコロナ禍で資料集めに大変苦労しました」とありました。さっそく、明けて読み始めました。

まず、力強いタッチの絵に目がひきつけられます。誠実で丁寧な作画に導かれて、登場人物をイメージしやすく、物語にも没入しやすいと感じました。

ストーリーは、これまでさまざまな作品で紹介されているポイントを押さえたうえで、イエズス会修道士ロレンソの教えや、イエズス会司祭フロイスとロレンソと日蓮宗日乗上人との宗論（宗教論争）など、あまり触れられることのないエピソードも描かれ、独特の展開を盛り込んでいて斬新です。

伝記マンガ
『ユスト高山右近』著者 遊子、発行パレード、定価1、100円（税込）

私は、細川ガラシャ夫人と右近の出会いと、それぞれの生き方の展開に心惹かれました。

セリフ中心のマンガでありながら、説明は丁寧で時代背景、状況が的確につかめます。右近が誠実に神に向き合い信仰に生きたように、本書も著者が歴史に誠実に向き合うことで、右近の人生に寄りそった作品になったと言えるでしょう。

ユスト高山右近の信仰と人生を知るために、道標（みちしるべ）となる一冊がここに誕生しました。

ぜひ手に取って読んでいただきたいと、切に願います。

第64回 日本カトリック看護協会全国大会
いのちに寄りそう カトリック看護師のまなざし ―いのちに寄り添って

第64回日本カトリック看護協会の全国大会が、9月20日（日）、21日（月・祝）の両日、大阪高松支部の担当で、教区カトリックセンター、サクラ ファミリア、ハートンホテル北梅田で開催された。

初日は「スピリチュアルケア研究会第1回セミナー」が行われ、43人が参加し、修了証が発行された。また、「第2回看護学生交流会」にはベトナム人学生シスター3人、日本人学生2人、陪席者5人が参加。夕方の懇親会には前田万葉枢機卿、酒井俊弘補佐司教が臨席した。前田枢機卿は大会に寄せた句「**金風や 看護大会 さながらに**」「**看護師の 歩歩清風や 宣教師**」を披露し、参加者の交流を深めた。2日目は酒井司教が「カトリック看護師の聖性―イエスのまなざしとなるために」と題して基調講演。カトリック看護師として聖性に招かれ、日々の召し出しに応えることの大切さを語った。その後、酒井司教と顧問司祭団7人による大会ミサ、午後からは、ガラシア会理事長、松本信愛（のぶよし）神父と聖マリア学院大学教授、ケン・スレイマン神父の倫理神学専門家が座長を務めるシンポジウムが開催され、姫路聖マリア、ガラシア病院、聖マルチン病院のカトリック看護が紹介され、分かち合いが行われ89人が参加し、学びと交流を深める実り豊かな大会となった。受付では熊本地震のための募金も行われ、福岡教区へ送られた。

（文　日本カトリック看護協会　会長　清水裕子）

酒井司教を囲んで基調講演の参加者とともに

坂出教会　ホセ神父様によるスペインの味 パエリアパーティー

4月にスペインのマドリード教区出身のホセ・ラモン神父が赴任されました。

8月9日（日）、「イスマエル神父への感謝パーティー」と題して、5月に続き、2回目となるパエリアパーティーが開かれました。

スペインから研修で来日中の神父たちをはじめ、玉造教会の信者や、お盆の帰省に合わせて集まった元信者とその家族も参加し、国際色豊かな食事会となりました。

パエリア鍋などの道具はスペインから取り寄せ、食材もすべてホセ神父が準備されました。「金よりも高価」といわれるサフランをふんだんに使った本場のパエリアからは、豊かな香りが会場いっぱいに広がり、食欲をそそりました。猛暑の中、窓越しに大皿を多目的ホールへ運び入れ、参加者は和気あいあいと食事を楽しみながら、親睦を深めました。ごミサとともに大いに盛り上がり、喜びを分かち合う一日となりました。

（文　坂出教会　　佐柄和子）

大島へ遠足
巡回教会の歴史と入所者との温かな出会い

8月8日（土）、ホセ・ラモン神父主催による大島遠足が行われました。

大島は高松港から約8kmに位置する面積61ha（ヘクタール）の小島で、島内には国立ハンセン病療養所「大島青松園」があります。かつてはカトリック信者である入所者も多く、1954年にはカトリック大島教会が献堂され、桜町教会の巡回教会として毎週のようにミサが捧げられた時期もありました。数年前に最後の信者が帰天されてからは、教会が常時使われることはなくなりましたが、現在も時折信者が訪問しています。当日は、ホセ神父とそのご友人、玉造教会の青年、桜町教会の信者の計8人が始発の船で大島へ向かいました。まずは大島教会でミサをささげた後、園内の資料館を見学しました。昼食後は園側のご配慮により、入所者のみなさんとの交流の時間が設けられ、貴重なお話を伺うことができました。

その後は、瀬戸内国際芸術祭のサポーターと大島青松園の職員の方にガイドしていただき、島内を散策しました。納骨堂や、遺骨の残骨を納めたモニュメント「風の舞」、かつて死亡した入所者を解剖していた解剖台（海中に投棄されていたものを数年前に引き上げ、島内に展示）などを見学しました。出港前には振り返りの会を行い、港では交流した入所者さんの見送りを受け、心熱くなる暑い一日の遠足を無事に終えました。

（文　桜町教会　長谷川 聖（せいじ））

パリ外国宣教会司祭 エマニュエル・ポポン神父様について

ポポン神父様は、2024年から小教区での司牧を離れ、大学で学びながら、ご自身の司祭召命について識別を続けてこられました。このたび、司祭職を離れるための手続きが開始されました。

今後は、これまで学ばれたことを生かしながら、信徒宣教者として新たな歩みを始められます。ポポン神父様がこれから歩まれる道に、聖霊の導きと豊かな恵みがありますよう、皆様のお祈りをお願いいたします。

大司教　前田万葉

【お詫び】本紙10月号1面囲み枠
誤）合同追悼ミサ（四国）
11月3日（火・祝）11時
カトリック桜町教会納骨堂
正）死者のためのミサ（高松）
11月3日（火・祝）10時
四国カトリック会館地下納骨堂
お詫びし訂正いたします。（広報委員会）

書籍紹介

著者　教皇レオ十四世
発行日　2026年10月1日
詳細

ヨハネ１・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で◆大阪高松教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく
日時 12/１(火)17:30～19:00・12/２(水)10:30～12:00
おはなし 下瀬智久神父（レテンプトール会）

聖書ヘブライ語文法(初級)
講師 小脇光男先生（熊本大学名誉教授）
日時 11/６・11/20(金) 17:00～18:30
対象 ヘブライ文字が読める方（途中参加可）

コレーン神父 聖書の集い◆「A年の主日のみ言葉に生かされて」
日時 11/９・12/14(月) 13:30～15:00

和田幹男神父◆聖書研究講座「新旧聖書の歴史・地理的背景を学ぶ」
日時 11/11・12/９(水) 10:30～12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語「マルコ福音書を読む」
日時 11/16・12/７・12/14(月) 17:00～18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を
日時 毎月17日19:00～19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

六甲教会
日時 次回2027年２/７(日)～２/28(日)14:00～16:00(４回)
参加費 ￥5,000(２名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年２回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会
日時 11/19(木)・11/27(金) 10:00～15:30
指導 染野治雄神父(11/19)、山内十束神父(11/27)
参加費 ￥3,500

◆一泊黙想会
日時 11/20(金)17:00～11/21(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ￥9,000

◆新約聖書の世界への旅
日時 第１(月)19:00～
指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本
日時 第１・第３(水)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ￥1,000

◆カトリック教会のカテキズム
日時 第１・第３(水)10:00～12:00
指導 染野治雄神父
参加費 ￥1,000

◆柱の黙想
日時 第２(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ￥1,000

◆教会の教えと歴史
日時 第４(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ￥1,000

問 宝塚黙想の家
☎0797-84-3111

髙橋聡神父◆カテキズム黙想会
日時 11/26(木)13:30～15:30
場所 サクラ ファミリア
主催 信徒の奉献 アネモネの会
問 髙橋聡神父
☎090-6329-5709

講座・研修会

大阪北地区養成チーム「秋の養成講座」◆第２バチカン公会議と私たちのシノドス Part2
講師 梅﨑隆一神父
日時 12/５(土)10:00～13:00
場所 関目教会
主催 大阪北地区宣教評議会養成チーム
申込 大阪北地区小教区は各教会養成チーム担当者まで。地区外の方は梅﨑神父まで。締切り 11/29(日)
問 ☎06-6951-5018 今市教会・梅﨑神父

兵庫・生と死を考える会 11月月例会◆「優しいあかりにつつまれて～将君を想い 優ちゃんと歩んだ31年」
講師 高井千珠さん（阪神・淡路大震災遺族）
日時 11/15(日)13:30～15:00
場所 神戸学生青年センター北館
参加費 ￥1,200 申込不要
主催・問 兵庫・生と死を考える会
☎Ⓕ078-805-5306
✉hyogoseitoshi@outlook.com

講座◆小さくされた人々のための福音
日時 第３(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ￥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

コルス・チェチリア六甲11月例会◆待降節のグレゴリオ聖歌を歌いましょう
指導 三浦優子(日本グレゴリオ聖歌学会会員)
日時 11/16(月)10:00～12:00
場所 六甲教会
会費 ￥500(資料コピー代実費)
主催 六甲グレゴリオ聖歌に親しむ会
問 ✉yuko531miura@gmail.com（三浦）
☎090-9703-9054(清水)

クリスマスチャリティーコンサート◆社会活動神戸センター支援
日時 12/５(土)13:00 開演
場所 神戸中央教会
主催・問 神戸地区社会活動委員会
☎Ⓕ078-221-4733

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い
日時 第２(土)19:00～21:00
場所 大阪ＹＣＷセンター（またはZoom）
問 レネ神父・水元
☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ"エッファタ！"練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア
日時 第２(日)19:00～21:00
場所 オンライン・パソコン使用
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

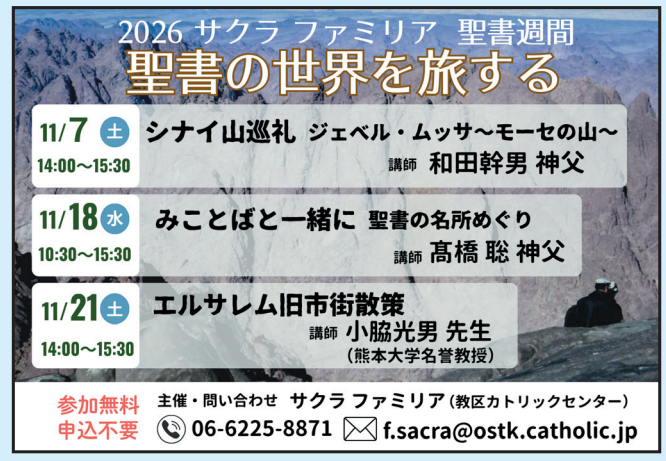
精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い
日時 11月お休み（全国大会出席のため）
場所 姫里集会所
問 ☎070-8946-4472
✉v_p_ikuchan@ybb.ne.jp

点訳ネット「レジナ」◆勉強会
日時・場所
奇数月 第２(火)13:30～15:00 姫里集会所
偶数月 第２(水)13:30～15:30 北須磨教会
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324
Ⓕ072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣
日時 第１・３・５(水)10:00～14:00
場所 姫里集会所
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会
日時 第１(土)14:00
問 高塚 ☎06-6921-0693
◆加古川教会
日時 第３(火)13:30～15:00
問 森田 ☎079-426-5704

日本カトリック司教協議会 聖書・教理部門主催
聖書に親しむ講座
講演
「聖書を、もっと身近な一冊に」 山下敦神父(大分教区)
「共同体で聖書を読む」 阿倍仲麻呂神父神父（サレジオ修道会）
参加無料 申込不要
11月23日(月祝)
12:30開場／13:00開始
大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂
【YouTube配信あり】 ライブ配信 後日 アーカイブ配信
03-5632-4451
gensec@cbcj.catholic.jp



行事等日程

11月			11	水	10時半 顧問会・責任役員会
1	日	諸聖人	15	日	貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～22日迄)
2	月	死者の日	16	月	日韓司教交流会(～19日迄)
3	火	11時 教区納骨者および死者祈念ミサ（カテドラル）	22	日	王であるキリスト 世界青年の日
5	木	〔常任司教委員会〕	12月		
7	土	管区司教と青年の集い(～８日迄)	3	木	〔常任司教委員会〕
9	月	ラテラノ教会の献堂	6	日	宣教地召命促進の日(献金)
10	火	聖レオ1世教皇教会博士 レオ池長潤名誉大司教霊名			

案内・報告

2026年度 秋 人事異動

※（ ）内は現任地。
▽Fr大久保武(カトリック中央協議会派遣)→教区協力・大司教館居住
【香川地区】
▽Fr豊田貴範(留学・ローマ)→香川地区共同
【紀泉ブロック協力】
▽Dnグェン・アン・サオ(日本語研修・ビアンネ館居住)→紀泉ブロック協力
【かわちブロック協力】
▽Dnアビコ・エジソン・ナシオ〈日本語研修〉かわちブロック協力

はばたき

とある出来事により 気づいた神さまの愛

洗礼を受けて一年、あらためて神さまの愛を知ることがありました。私は今、精神を病み休職中です。いつも通り御ミサに与り帰ろうとした時でした。信徒さんから「神さまはきっと貴女をもっと側に置くために休職にしたと思う。だから心配しなくていいよ、神さまがきっと良いようにしてくれる」信者さんの一言は、乾いた土にしみ通る神さまのみ言葉に聞こえました。

神さまは共に居て十字架を担ってくださっている、その言葉を忘れないように、今度は私が誰かのための神さまの道具となり助けたいと改めて思いました。

（徳島教会　堀江淑子）

11月司教予定

「行事等日程」以外

・11/１　いずみブロック合同堅信式(†M)
・11/３　教区納骨者死者祈念ミサ(†S)
・11/７～８　管区司教と青年の集い WaiWai(†M)(†S)
・11/８～９　全国広報担当者会議(†S)
・11/14　仁川ブロック合同堅信式(†M)
・11/15　しろきたブロック 合同堅信式(†S)
・11/16～19　日韓司教交流会(韓国)(†S)
・11/22　芦屋教会70周年(†S)　紀の川教会25周年記念ミサ(†M)
・11/23　聖書に親しむ講座(司教協議会 聖書・教理部門主催)(†M)
・11/29　明石教会堅信式(†S)

†M＝前田万葉枢機卿　†S＝酒井俊弘補佐司教

Caritas Japan カリタス ジャパン
緊急災害など、期間限定となる募金
以下受付が開始されています。
- ネパール土石流救援募金
- 令和８年熊本地震募金
- ベネズエラ地震救援募金
- ミャンマー地震救援募金
- 能登地震募金
- ガザ人道支援募金　他

◀読取り